

2019年3月11日

株式会社 山陰合同銀行

玉造温泉キャッシュレス化への取り組み

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）は、玉造温泉旅館協同組合（代表理事 皆美 佳邦）、松江観光協会玉造温泉支部（支部長 新宮 正朗）、まつえ南商工会（会長 高橋 陽介）と連携し、山陰における有数の温泉街である「玉造温泉」において、観光客の利便性向上と温泉街の活性化を目的に「スマホ一つで街歩き」をテーマとしたキャッシュレス化に関する取り組みを開始いたしますので、お知らせします。

1. 取組内容

(1) 旅館内のキャッシュレス化（第一段階）

A. スマートフォンでの決済（以下、スマホ決済）への対応

現在普及しているクレジットカードだけでなく、スマートフォンでの宿泊代等の決済を可能とします。

具体的には、各種QRコード決済や電子マネー（iD（アイディー）、QUICPay（クイックペイ）、交通系電子マネー等）に対応します。

B. 旅館内での利用施設の拡大

フロントでの宿泊代精算だけでなく、売店や飲食施設等での支払いもキャッシュレス決済を可能としていきます。旅館側の精算業務軽減や、お客様の支払い等に要する時間の短縮を図ります。

(2) 温泉街のキャッシュレス化（第二段階）

スマホ決済を、街中の飲食店・小売店でも利用可能とします。入浴後、浴衣に「スマホ一つで街歩き」ができる温泉街を目指します。

(3) 地域全体のキャッシュレス化（第三段階）

玉造温泉での取り組みをモデルケースとして、山陰地域全体のキャッシュレス化を図っていきます。

2. 開始時期

2019年3月中旬より、準備のできた旅館や各店舗にて順次スマホ決済を可能としていきます。

（次ページに続く）

3. 対応するスマホ決済

決済手段	サービス	特徴等	対象の観光客
QRコード決済	Origami Pay (オリガミペイ)	お手持ちのクレジットカードを登録することにより、スマホ決済が可能となります。 一部銀行では預金口座からの決済も可能です。	国内
	AliPay (アリペイ)	中国インバウンド対策として対応します。 AliPayユーザー数は6億人以上となっています。	中国
	J-Coin Pay (ジェイコインペイ)	約60の金融機関が参加する銀行系デジタル通貨です。 当行の預金口座からも3/25よりチャージ可能です。	国内
電子マネー	iD、QUICPay Suicaなど	ApplePay/GooglePayにより、スマホで非接触決済が可能となります。	国内

以上